中村俊定文庫
文庫 18
940

遠陽堀之内

雪仇舎

中村俊定文庫

序

遠南平川雪仇舎

芦亀述

中村俊定文庫

ありそなる砂子のうへに北海漢史七十
餘しとて雪中に居を松して
濤こ舎よ數日此を高なりしかるのち
何の日海士の家の松蔭こ雪の降るを
かなしあつ夕五六人集り詩しを作るこの酒乃
名をいつまて歸よとて手をたゝき小岡と呼

櫻井侍中清季日記　清季者
兎園祖父也

万葉二十巻

遠江国山名郡防人丈部川相歌

等倍多保美志留波乃伊宗等示閇乃
宇良等安比互之阿良波已等毎加由
波奈

この歌のこゝろハ古人の作る所ハ贄也
贄を作るとゝ云志毎波ゝ計る唯

作るけ共ゝ作る人ハ作る人ハ作る人
作るとゝ海境
作るかゝ傷て贄をハ作る也
ありてけハ東海道の遠江国ある
ゆやゝ人せゝ東国人のあひ見る
あゝもゝなゝハゝ作るゝ作る人
ものをゝかゝわゝ作るゝ作る
ゝゝゝとゝ云ゝ下略

[illegible]
人[illegible]
肥後志[illegible]
[illegible]
[illegible]して浦の[illegible]
自[illegible]
[illegible]
[illegible]

浦遊

遠江志[illegible]波乃夜や[illegible]
[illegible]日[illegible]
長路地と[illegible]
乾坤四隅乃日[illegible]
霧[illegible]
[illegible]
茶釜[illegible]

波根ら濱を白うきて何やよとゝ
いと多く水さしの乃かゝもを洗ゝし
又ゆさゝの人はれいつれ山神ゝハ岩ゝ
云ゝ乃作あり玉ゆく風波小
玉ゝうゝ玉の丈ゝ事ゝるゝまゝ
いかゝとゆゝれハうきを又宇宙ゝ
一ゝ社業教かゝりとれのゝ激れ
みゝを波て夏日波ゝうゝ乃ゝ

歌仙

赤穴の浦や風物ゝ晴て伊良古崎　夢太

船ゆゝしゝさ波れ羽　第　桃司
洋瀛乃麻上ゝ打を將て　芦亳
陣敵中水酒のさゝく　鬼園
胃明を玉ゝ門乃箭玉れ　呂竹
織玉ゝ乃麻れ起ゝ　百鏡

ウ

長い乃まさ 技業つ 薪こう　周竹

お 市 枝の 別 れ 別て おりく　桂山

きさ〜乃宮沼と 山田と 仮ひと　雪文

縄ゐ きく 矢く 住て 歌 別 状　太

領 保の 松 と ゆめと 繁 なく　司

晨 船の 那 和 沼 氷 多り　亳

ゐまて 微 と 自のあきと　園

夜 刻と 詠て 阪 枝の 北 面　呂

突て 来 こ きめる 奉れ 杖の 支　鏡

ゐ白も 脱し 粥乃中 入　竹

乃 沼本 こ 三 根の 花 表 脱 こ ま　山

の 形 き ハ ま 分 能乃 脱 こ ら　文

一 財 市 奉 こ 多 有 蔭 こ ゆく　太

扇 ホ 梶 こ こ さの 吹 徒　司

ち

松 浦の 赤 第 奉 き 書 丹 こ し　亳

見 見 ま よ こ 此 鶯の 二 羽 て　園

語尽く浮世の年も暮にけり　　　　呂

羽箒を拵へ次郎十郎　　　　鏡

暑くハ及りぬ空に切もなさ　　　　竹

秋ふゝ町も自由轉変　　　　山

君代のうちにて城小ぶし訓　　　　史

春ハ空もえやまこともなり　　　　太

嘘手乃龍ふくらて湖月抄　　　　同

紅葉の中に散去川まる　　　　毫

さい
はまりハ、待兼山の秋さくさま　　　　園

まさをは切も向てころく　　　　鏡

夜霧らうさはく鳳心壽訓　　　　山

首途ふし乃日和定まる　　　　史

桑むかへて花も鶏形素内せん　　　　竹

かは治　和布　若　和布のいのしか竹　　　　呂

極楽寺薬師堂にて

王母宅　初三

牛乃尾にて　桃司

遺稿四白八老君の手なるべしとて　桃司

雪振芦毫香炉ゆゑ是之

八月十五夜　桃司

くらひすや　初雁

行雁や　恵車

明て見る　中乃月　芦毫

七日の夜業平の墓に　芦毫

南枝より　東や　辻う　毎

草枕や　枕を　ゝ　沖　能

高灯ゝ　氷ゝ　て　暖　南

四季混雜

[illegible] 牡丹 兎園
[illegible] 呂竹
[illegible] 百鏡
[illegible] 梨可
[illegible] 雪文
[illegible] 雪鳥
[illegible] 呂童
[illegible] 佳静

十段[illegible] 橋爪 理文
[illegible]、この
[illegible] 蓬乃 雪後
[illegible] 布施 也牧
[illegible] 小松 南素

旅泊

[illegible] 浜松 魯光
[illegible] 国府 米林
[illegible] 大坂 千芳

[illegible]や[illegible]の[illegible]　梅閣

[illegible]や小[illegible]の白乃あと　浜松　麦逢

懐の[illegible]や[illegible]のうち　馬浪

[illegible]うと書[illegible]を[illegible]人汐平北　相良　松蔭

[illegible]へあらうら[illegible]や[illegible]の月　巴兆

[illegible]や[illegible]の白ひもきて　南梁

[illegible]一[illegible]るき[illegible]　加茂　真川

[illegible]へ[illegible]ち[illegible]田[illegible]　平川　園二

[illegible]て[illegible]義[illegible]田[illegible]、真可

[illegible]の[illegible]や[illegible]乃[illegible]　赤土　些月

風[illegible]乃[illegible]や[illegible]水[illegible]、文峰

[illegible]や[illegible]の[illegible]　淇竹

[illegible]の白[illegible]　三徒　千之

[illegible]乃[illegible]や月[illegible]　内田　赤正

雲平や客ゝも白さ雪乃湯　投田　蕪陵

三日月を指ゝ物案てや雛の君　桃葉

新坊と寄ゝ見るやう雪乃中　榛地　巴兆

出平や茶屋酒しよ酒乃之　無一

月の日も傳て濡ゝ雪の道　月岡　渡道

茶湯花や後ゝ寒ゝ庵　平川　冬雁

森遊ハ名乃ゝ乃ゝ水　加茂　楽女

庵ゝ寒ゝ指ゝ咲や花ゝみ　三門　三暁

出ゝ乃中小ゝ川ゝ乃ゝ人ゝ、虚舟

山ゝ乃茶小咲ゝや乃ゝ身　森　風耳

ゝ雪を洗ゝ指ゝ郭　吳ゝ

後ゝ井の糸や寒ゝ乃中　女　花遊

見渡ゝ帰ゝ物ぬやゝ人ゝ　野彦

菅咲や義小ゝも見る花の　阿鼎

並松の一限ゝ寒ゝすゝ　新貝　献壽

素月亭ゝ

ゝ人の中ハ源ゝ猿楽ゝ　器調

卯乃華や 浦伝ふ 玉藻刈時 さゝ浪 三牛

菫陽

猫柳の 行方なく 夢の 瓢の郎 之園

掛川

奇傳を 教むゝ さゝやか 茄子 露堂

又自 西や 行空 筆ハ 至乃雪 卜我

女

砌探や 卜ゝ 絶る 岩石水 楓江

霧と 門を 後ゝ せてハ 深る 吳笠

解ゝ ゝ 岩形 高や 峯乃雲 一鳳

加茂川や 時ハ 冬 郭鳥 鳥道

北ます 雛の 郭や 茶乃 河 楚江

夕 彩れ 霞ゝ 日ゝ 入ゝ 小 横桂

足を 又 美 霞 ゝ れ 如川

霞と 又 手 ゝ 美 ゝ を ゝ 小 菱園

れ 書ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ や れ 面 左夢

ゝ ゝ や 巻 尾 就の 楊ゝ 巴陵

杉 杉ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ れ 仁人 露什

遠 千 ゝ や 白 眼 や ゝ ゝ ゝ 、 桃川

[illegible] 七人 いくさ
十日あまり 破ぬ はまをゝ 小 亞 、 玉町

[illegible] 尾崎 七人 南空
[illegible] 、 菜人

酒海 [illegible] 比六 桃宣
懷紙 [illegible] 女 和好
[illegible] 、 可遊

さの [illegible] 、 胡靜

潮海寺
[illegible] 更衣 布流
徒男の [illegible] 田徒 楚竹
[illegible] 日 [illegible] 菖乃花 五羊
[illegible] 寛文
海 [illegible] 人 [illegible] 楓車
彼 [illegible] 鷄路

又日毎や一日之雅なひとり杜　杜鳥
経舞し盗人きてきくれ　麦路
源寿丸傘小やとして市ゝ　旨因
きくしきや皇心ゝるこ雅ゝ　吉田　燕兒

ひと名丸きくあくしかよ　大津　文素
ゆ乃ゆ丸数ゝ人見てゆゝ　巨列
杉源や帆の如ゝを　京　蝶爰
忠の百ものゝ中あゝ丸　花汝

湘ゝ海や丸ゝ八月乃後　吟侍　和菊
ゝ作ひすやきゝ　蝶羅
夕風や能ゝ松　西乃糸　鉄叟

東武雲中菴瓢中

名月や人ゝを焼る秋丸　天府
ゝ雲又花と寄ゝ　婆心

門ゝゝ上夏御鶏や久乃月　蓼扣
下雲や里を秋明ゝ鶏丸ゝ　東糸

門をたもつ紙雛　班象
寄生木のうつくしき実　六窓
紅葉乃こゑ石切山の紅葉　乳峰
世の中に桜を見て小雪かな　楚水
満開に桜をうつす白かさね　桃鏡
大仏をうつしてうつす巻物　求光
うつすかの山ハ霞の内　宜中
嶮の流ひかり源氏の見物　是物
又うつす筆に雪を多　蓼旦

蓉うつす愛し夏を　鈴乃
紙雛の風に流る清流　鼠腹
帰雁行きぬ春ぬ也　魚汶
桜見て目をつぶる牡丹　野菊
桜を手折ひかりかな　菜路
ふしぬや時へぬ　結　拌太
風一ふきうつして遠　新鈎
うつす筆を物ひかる　山幸
傾城を慰め筆をうつす　宗車

一日つゝ雪引とけて梅つぼみ　飛鯨
雪ふる鶯の春やこゝろ　小春さめ　春平
こゝろ〳〵と霞ふる　空杖
ふれ〳〵ゝ久日やあたゝかに　撫石
宇治よりの便り　破顔
雪はれて雲ふる　眠我
明まで舞ふ　抵什
うぐひすの神のこゝろ　北魚
引ふる帆ゝ霞乃　雁奴

市中ゝ二千丈の柳ゝ　抵傘
降ふれ霧ゝ　大路
蓮乃葉ふる　眠江
朝霧ふ花ふれ　吏仙

東武ゝ

二ゝ枝　尾城
雑ふ　也有
雑ふ八ふれのゝ　八亀
ゝ作ひすれ　加賀　壽園
石ゝ　越中　麻又

[illegible] 壹九
傘乃[illegible]や [illegible]と春の面 宗瑞
[illegible]枝[illegible] [illegible] 高起

湖[illegible]や粥の[illegible]に五尼寺 嵐亭
[illegible]や漂く[illegible]を [illegible] 人龍
[illegible]や[illegible]の数[illegible]遠[illegible] 白牛
[illegible]の[illegible]水[illegible] 小鉢[illegible] 雷堂

[illegible]る紋す自[illegible]る 吐月
[illegible]舟の[illegible]の水 信夫
未[illegible]の[illegible]水 阿音
[illegible]の[illegible]の雪 乙兒
十月[illegible]や 紀[illegible] 蓼太
[illegible]の紙[illegible]一帖を七竈[illegible]の紙中
[illegible]を[illegible]尾の[illegible]

七竈菴周竹述

賀茂の[illegible]東[illegible]源川西津寺[illegible]芭蕉の遠[illegible]

石碑を建て又雪門の志しを遂げの大今[illegible]
[illegible]
雪門百余人勝を喜び老師一帰の素つと
第[illegible]文壇[illegible]白ひの[illegible]を指[illegible]
志[illegible]澤[illegible]後輩の時勢を[illegible]
共に雪中菴小[illegible]宿[illegible]
[illegible]
[illegible]日数[illegible]
[illegible]日

天府公へ[illegible]
[illegible]雪　盤古
[illegible]火葬　時　志　天府
[illegible]
[illegible]周竹[illegible]
[illegible]
玉白[illegible]雪中菴[illegible]日[illegible]の
[illegible]

ひとりゝ甲斐う根ゝうゝゝよろまの
又まよと勢うゝ周盤阿う帰路と
見ゝやす　蓼太

吹ゝうゝ風ゝや秋ゝうゝ　周竹
枝を三枝ゝ　阿音
蛆枝の奥ゝうゝ繕うゝて　雷堂
夾白壁乃邪かゝ　盤古
七夕ゝ月ゝ雲かゝ　吐月
ゝゝ秋風の神ゝ　白牛

俳書ゝ内ゝ　白牛
二ゝ指ゝ　箕南
扇ゝ見ゝ　茅路
庫裏ゝけゝ童ゝ桂の芝ゝ
山のゝゝゝ　桂山
ゝゝ現ゝ座ゝのゝ　鼠腹
陰移新ゝ　信丈
國乃浮舟ゝ　蓼旦
招いゝ見ゝ笠ゝ　白蓼
　　桃太

鄭をゝ旅刹の柄杓童ゆゑ　南
相可ハ汗ばむ比かゝる里と　音
梅ちる水の自ゑをとゝ　堂
まゝ風入る汗乃山百度　古
十九
地元祭稽と上総と紙中と　月
生しゝをゝ乃彼傘　旦
舞ゆゝと古代命ゝ陸奥拾　竹
茶雀ゝ茶乃彼ゝをぬく　牛

帷子の藝ゝ藝比乃をゝ　文
さゝゝ比敷盲如の槻童ゝ汐　路
警屑ゝまゝ忍柳子の茶木元　桁
茶微て出をゝ酒乃庵高　腹
孫ゝ如ゝ乃をぬゝ立花の九額　山
ゝる結ゝ文ゝ赤沼乃自　牛
簾簗ゝ滿一山津の吟ひ　旦
拂ゝゝ乃新ゝを作　堂

山岡ハ多能八幡の社にて　古

風吹き渡り解け初めし氷　竹

ちらちらとなりて音

日和よりて月見の太

月の花の月

来れば　月見の美　拼

二列格上

むらさきの江戸うちの海の筑波山　周竹

清乳山

雪参や第一書かり花清美　盤古

見海眺望

むらさきの浦のうらの海　古

時雨の中　沖くらし夕日の色の川　竹

茂沢の里のうらの

水仙や聖の庵の春の雨　古

南江茶店

河豚料る文臺紙の中の部　吉

大阪藤泊　神[illegible]

[illegible]　竹

玉箒乙

[illegible]の[illegible]　吉

後城下時雨急雖中吟

神事や紙花保れ茶一杯　耳得

菊村も者も[illegible]の色　盈行

蓑虫の説[illegible]　蓼磨

[illegible]ぬ葛ハ[illegible]　扇蘿

[illegible]田川あり[illegible]　荒振

白波の[illegible]　蓼戸

[illegible]風[illegible]　周露

[illegible]女子[illegible]　鍾山

[illegible]　金亀
[illegible]　子来
[illegible]　琴馬
[illegible]　居逸
[illegible]　六賈
[illegible]　馬尤
[illegible]　蘭府
[illegible]　雅堂
[illegible]　呉牛

[illegible]　都雁
[illegible]　菖末
[illegible]　兎夕
[illegible]　奇峰
[illegible]　左逸
[illegible]　自考
[illegible]　初暦
[illegible]　只言
[illegible]　蘭陵

九〻なる角の名所や和歌浦　貞之
白〻四〻まさ〻〻岸の島　女　冨世
水鉢と桂〻の花　高尾　蕉松

〻れと昔代法の田舟　久能　蓼舟
行末や雑賀の乃磯の庄司　奥津　曙山
敷島の雲〻自ら　由井　無説
さ〻波の水せ浪〻〻〻　押布
却乃宗比　花や雪一雨　折水

なる中の〻〻ゆるし男山　陸ノ腰　昔我
名月や六十帖の光〻矢　虎水　亀童
百姿乃形を物〻〻〻〻〻　阿波川　之東
〻捷〻る布〻〻〻〻　久能　里仙
陸殺する流や〻〻を　江尻　杜今
〻〻雨のきみ〻〻あり　蝦牛　未已
一生つ〻弗も行〻〻　夏〻〻〻　雪白
光響と重〻〻〻〻　後庵　苗代田　鷺三
水鳥比例〻〻乾〻〻〻　陸取　麻介

糸車乃枝を枝ふ出るすゝふる　佐一郎　燕波

反魂の香を　流戸　大賦

鉢深乃鉢の木　梵し　飯巻ふ　嶋田　幾馬

枝法業出蓋　ゆゝえて　咲くゝう　千布

夕ゝや　水　高ゝ　高ゝ　日ゝう　大耳

むゝ　鉢ゝ　蕨の　ゝうの　多ゝ

蕨ゝ　自の　楽ゝ　伝ゝ　国作　世ゝ

止ゝ　ゝ　ゝ　乃　宗　後　ゝ

打　邪　茶　之　解　の　示　ゝ

枝ゝ　蕨ゝ　高ゝ　枝ゝ　鉢ゝ　ゝ　ゝ　瓦子

後　乃　水　の　蕨ゝ　枝　ゝ　唐竹

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　大耳

下略

宇津の山

蕨　伊　陵　ゝ　十　ゝ　子　竹

日坂茶店

宝ゝ掛川の之園巴陵酒むゝ

蕨ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゝ　ゝ　弱　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

傘おとしおかれや紅もみぢ　周竹

孫人の孫く袖ひいく八ッよりの　之園

あの子の子の子の子も用ゐや海棠　巴陵

雪門俳書目録

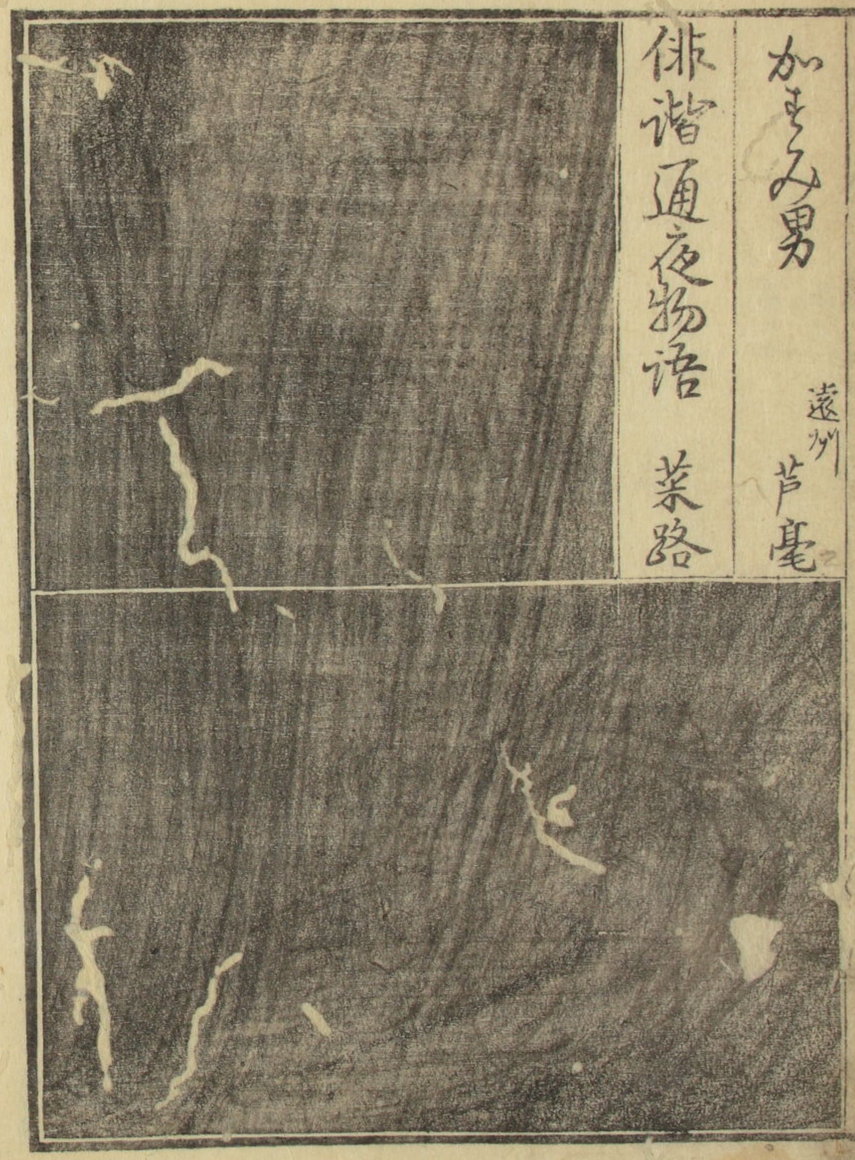
芭蕉翁句解	蓼太撰	暁花遺稿	夷流
白滝百韻	機石集	前編花三解	如雷 夜光
髭筆	宗祇十五禁	蓼太解	續其袋 古崗雪文集 蓼太撰
俳諧唐詩三物	雪門社中	幸崎三吟	柳波 湖涼
蜀川夜話	素堂宗長房他并古人句拾	葛下撰	苔乃宿 蓼太 眠江
墨繪合	六玉川哥仙	如雷 赤羽 南翠 牛京	左蘭 夜光
魚と水	古今婦女句拾	女野菊撰	僧都問答 雷堂
			躑躅行脚 山奴集

飛び〻部 貧衣二部并萱見賦 都雁撰
史登迷稿 芭蕉翁七部捜 蓼太撰
芭蕉翁句評入 去来湖東問答 桃鏡校
百姫〻屋 後陽馬尤撰
三名の〻り 續夏引集 後陽瓦子撰
新古 芙蓉文集 後陽耳得撰
芭蕉翁文集 桃鏡
芭蕉翁附合集 桃鏡

新古三句の〻り 夏引集 桃鏡撰
花簟筒 正花論 白牛撰
五叉一具 周竹撰
梅乃渡 後陽 尤更撰
翁門人寓居吟 尤耳集 嶋田塚本 桃舟撰
恋〻〻〻 〻兒 蓼太
俳諧無門関 蓼太撰
月下録 花多年桃功六花門出 後蓼多落撰

百五十番句合 蓼太 吐月
芭蕉翁文甚圖 桃鏡
後編花三斛
風羅画行
古人発句附合 俳諧棚さがし
名所句拾 景と我
附合百番句合 蓼太評 杜中
杜〻乃舟 墨水紀行

芭蕉翁哥仙 春と秋 桃鏡
ちの〻井 六花彦 〻兒
糸山彦 六花菴選
虫勧進 六花菴門人 蛙音著
ひも〻かゝ 後河女 花夕集
芭蕉翁真跡集 蓼太
芭蕉翁俳塚 同
養老八詠集 河麻仁

かまみ男　遠州　芦屋

俳諧通夜物語　菜路